

(1) S L E E Pの命令をサポートします。

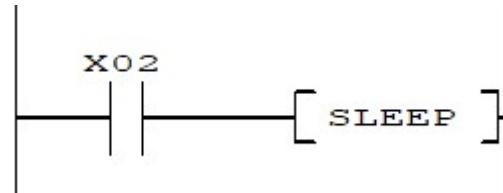
連枝のP I Cにおいて、C P UをS L E E PさせるコマンドS L E E Pをサポートする予定です。現状、S L E E P機能を使用するためには、以下の連枝およびC P Uが対象となります。今後、対象となるC P Uは増やす予定です。

連枝 V e r 8 . 7 1以降

P I C 1 6 F 8 4 AまたはP I C 1 6 F 8 8

(2) S L E E Pの仕様

ラダーからS L E E P命令を呼び出すことで、C P Uの動作を停止させることができます。この時、C P Uの使用電力が抑えることができるため、省電力化することができます。

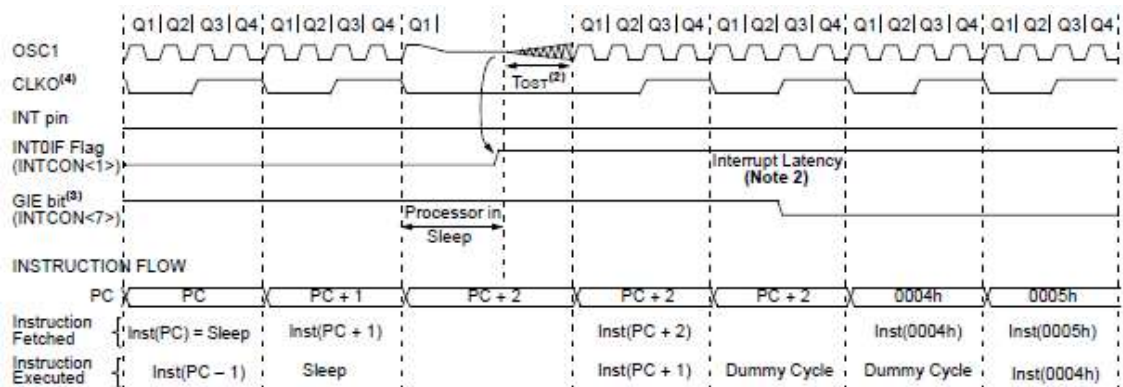


S L E E P命令から復帰するのは、R B 0 / I N T入力 ( X 1 0 ) をH I G HからL O Wに変更することで、割込みがかかり、元の状態に戻ります。戻った後、停止時点から動作を再開いたします。タイマーやカウンタなどは、停止前の値から再開します。

(注意)

- ・ S L E E P命令を使用すると、R B 0を出力として使用できません。X 1 0の入力として使用はできますが、あまりお勧めいたしません。

- ・ S L E E P命令実行すると、C P Uの状態がそのままお休みします。そのため、出力中のピンは、出力状態を維持します。もし、L E Dを切ってS L E E P状態に切り替える場合は、お客様側で、L E D O F Fのプログラム実行後、1スキャン経過したのちにS L E E P命令を実行するようなラダーとしてください。



- Note
- 1: XT, HS or LP Oscillator mode assumed.
  - 2:  $T_{oss} = 1024 T_{osc}$  (drawing not to scale). This delay will not be there for RC Oscillator mode.
  - 3: GIE = 1 assumed. In this case, after wake-up, the processor jumps to the interrupt routine. If GIE = 0, execution will continue in-line.
  - 4: CLKO is not available in these oscillator modes, but shown here for timing reference.